



児童養護施設 合掌苑 〒501-4101 岐阜県郡上市美並町上田 674  
電話 0575-79-2914 FAX 0575-79-3584

「一年の締めくくりを大切な節として」

合掌苑苑長 山口 薫

時の流れは早いもので、平成 24 年度もなんとか大きな事故なく締めくくることができました。これもひとえに合掌苑を支えてくださる皆様のご協力があったおかげと感謝いたしております。

子どもたちは毎年、年度当初に部屋替えと担当替えを行い、新しい気持ちで合掌苑生活、学校生活に取り組んでいます。平成 24 年度末には 4 名の退苑がありました。家庭に帰った子どもが 2 名、高校を卒業した子どもが 2 名、うち 1 名は大学進学、1 名が就職しました。これからの頑張りを期待したいと思います。また職員は年度末に 3 名の方が退職されました。苑の子どもたちのために長い間ありがとうございました。

人が生きていく上で出会いと別れはつきものであり、避けられない運命のようなものです。この出会いと別れをどのように迎え乗り越えていくのか、その通過の体験の仕方が大切だと思います。子どもたちは毎年新しい学年になり、新しい目標を持って一年を頑張り、その努力に合った成果を持って年度末を迎えます。そうして一年ごとの成果を積み上げて成長し、自立していきます。この一年一年の「節」があることは豊かでしなやかな人生を送るための糧になると思います。

大人になると子どものような一年ごとの「節」は作りにくいですが、人生の大きな「節」、就職、結婚、出産、子どもの成長といったもう少し大きなスパンでの「節」が考えられます。人生にあるこうした出来事をよく味わい噛みしめながら通過することで、大切な人生の「節」をきちんと形成できるのだと思います。

大きな立派な大木のように育つということも大切ですが、大木ではなくても竹のように「節」があることで細くても風に揺れても折れることなく、雪の重みにも一時的には曲がってもまた元に戻り、太陽という目標に向かって伸びていくことができます。人生における様々な状況にもしなやかに対応して生きていくため、竹のような「節」をしっかりと形成していくことが大切だと考えます。

合掌苑の子どもも職員もこの「節」を大切にし、平成 24 年度一年でできたこと、やり残したことを振り返りながら、新しい平成 25 年度においてもさらなる成長を目指します。よりよい合掌苑になるよう努力して参りますので、ご支援ご協力の程よろしくお願い致します。



皆の節目を祝うように、今年も苑庭に立派な桜が咲きました。

# 平成24年後期 合掌苑行事



23日 クリスマス会

今年のテーマは『みんなが参加できるクリスマス会』。いつもよりも参加型の出し物を増やし、みんなで盛り上がりました。例年大好評の【二人羽織】は、参加した子も見ている子も大爆笑のゲームになりました。お菓子が顔に付いたり、男性職員に化粧をしたり、抱腹絶倒のゲームはクリスマス会の定番になりました。他にもTVでよく見るクイズゲームを基に、5人が1文字ずつ、5文字の言葉を当てるゲームを行いました。よく見るキャラクターも、子どもと職員が混ざると、ジェネレーションギャップによって不思議な名前に早変わり！みんなで協力して正解した時は、みんなとても良い笑顔でした。ケーキを食べ、一緒に過ごすクリスマス会は、暖かく心がほっこりした会になりました。



12日 どんど焼き

苑の毎年恒例行事、どんど焼きがありました。

子どもたちは使い終えたノートや頑張ったテストなどを火の中に投げ込んでいました。昼食はどんどの火を使って焼いた焼きもち。熱々のおもちをみんなでおいしく頂きました。



11日 テーブルマナー講習

今年も(株)竹内刃物様より御招待を頂き、中学3年生を対象としたテーブルマナー講習に参加しました。今回は岐阜グランドホテルにて、児童4名、職員2名の参加となりました。

皆初めてのフランス料理とあってどの子も緊張気味でしたが時間が経つにつれほぐれてきて、パンをおかわりするなどお腹いっぱいのお食事をさせていただきました。また、それぞれに卒業祝いのプレゼントもいただき大満足でした。日頃、なかなか経験できないことをさせていただき子どもたちとても貴重な経験になりました。





## 24日 冒険キッズ招待 冬バージョン

郡上八幡にある山と川の学校の招待で、子ども15名、職員2名が郡上市高鷲町で雪遊びを楽しみました。ソリ遊び、タイヤチューブ滑り、カマクラ作りをスタッフの方と一緒に楽しみました。普段体験できない遊びが1日でき、子ども達は目を輝かせていました。

今回で冬の招待は3回目になりましたが、子ども達はとても楽しんでいました。



## 16日お別れ会

今年度は2人の高校3年生が不安と希望に溢れた新しい道へ、兄弟2人は両親に引き取られ念願の家族との生活です。そして、20年という長い期間、合掌苑のために御尽力頂いた苑職員2名を含む3名の職員が退職しました。合掌苑を卒業して行く子どもたちや退職者さんの思いを話してもらって、在苑生も職員も色々と振り返って考えることができた、笑いあり、涙ありの素敵な会となりました。



## 20日A担当会

映画館へ行ってドラえもんの新作映画を観てきました。ロビーに来ていた動くドラえもんに子どもたちも大興奮！一緒に写真を撮ってきました。その後は買い物をしたりゲームセンターに行ったり、お風呂に入ったりしました。楽しい一日になりました。



# 合掌苑本館内の紹介

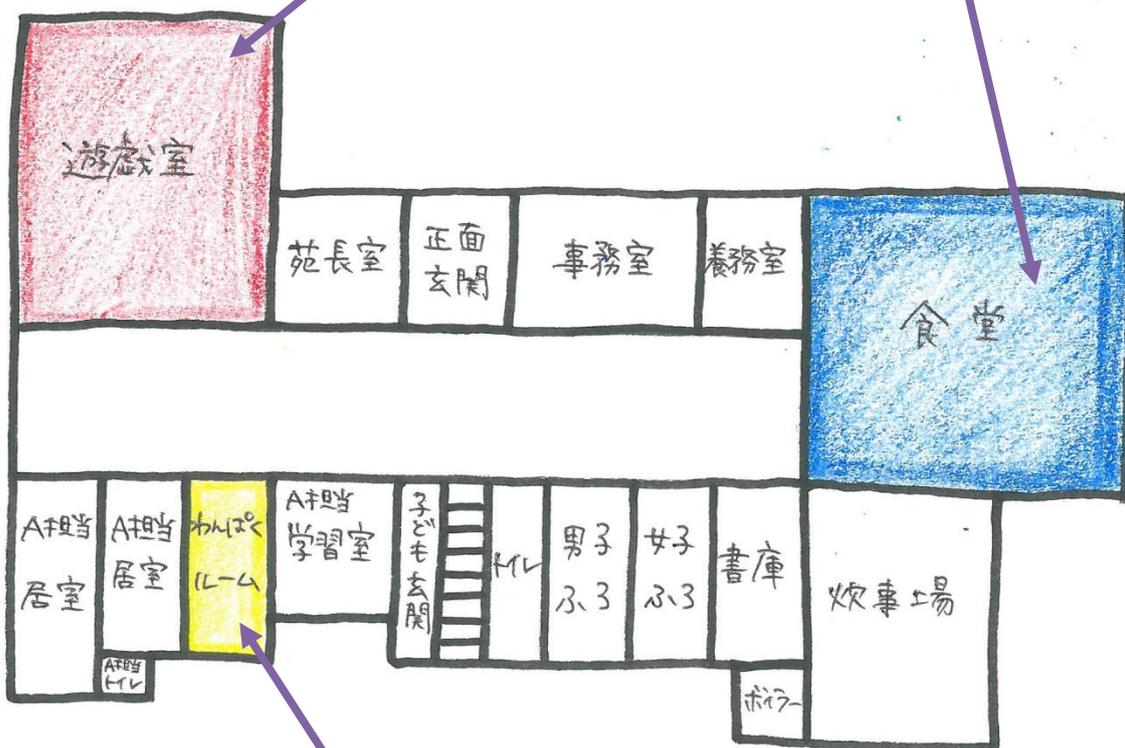


広いスペースで卓球も



みんな揃っていただきます

1F



小さな子どもが安心して遊べます

合掌苑にはこの他にも小規模グループケア棟と  
 いて別館（福祉館・かやのみ館）があります。  
 そちらもまた後日紹介したいと思います。

## 合掌苑の特徴

- ①大舎制と呼ばれる施設で、1つの建物全体で1つの養護を行う形態で作られました。学校生活に似た集団生活で規則を守って生活します。近年では別館を利用して合計3つの建物を使い、小人数で生活する一般家庭の生活に近づける取り組みをしています。
- ②周りは田園や、山や川といった大自然に囲まれた豊かな土地です。また地域の皆さんの協力もあって、子どもたちは落ち着いた生活ができています。

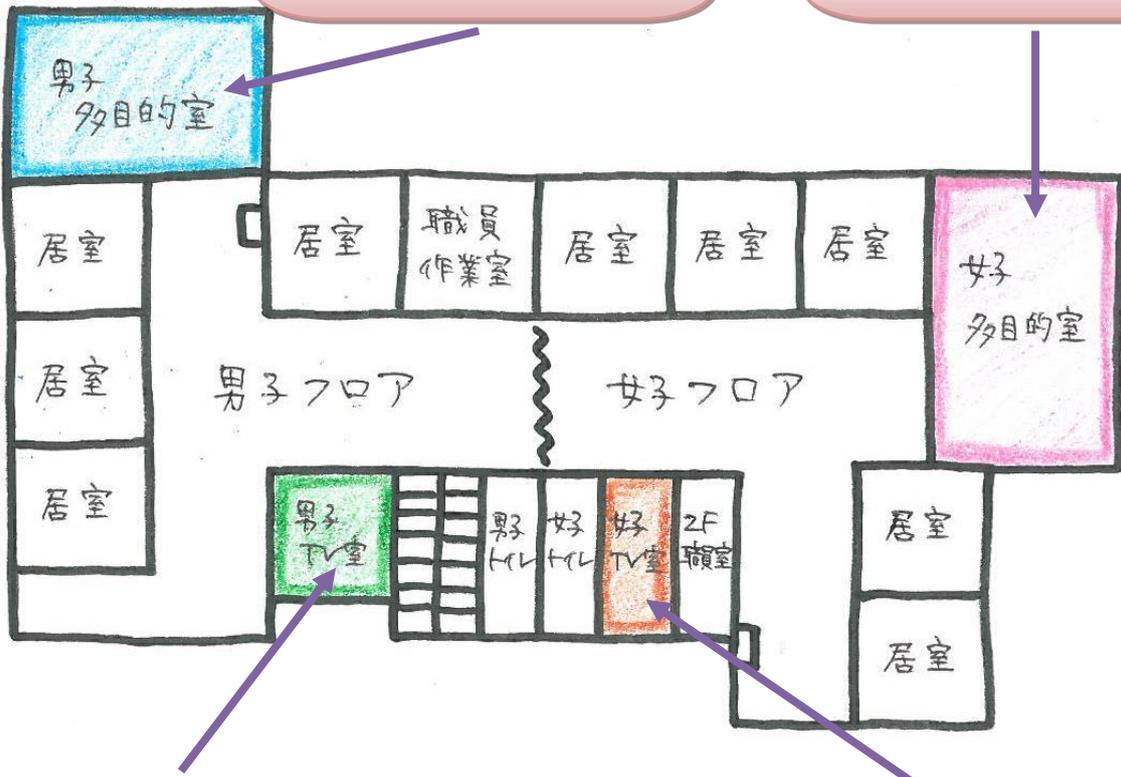
2F



小中学生（男）が勉強に使ったりします



小中学生（女）が勉強に使ったりします



冷暖房・地デジTV・ブルーレイ完備



冷暖房・地デジTV・ブルーレイ完備



## <今年度の取り組みと体制>

(取り組み)

今年度は、昨年度より一歩進めてこれまでの子どもと職員との全体の話し合いから、各グループでの話し合った結果、合掌苑の基本方針 『わかり合い・助け合い・磨き合う生活』 に向けお互いに協力し合って楽しく生活できるようにルールを決め、頑張って生活していくことにしました。

(体制)

昨年度までは、各担当男女混合でしたが今年度は、A担当はそのまま男女混合ですが、B・C担当については、男子担当・女子担当としました。

1、在籍児童数———— 4月1日現在 29名 ————

(幼児4名・小学生8名・中学生5名・高校生12名)

2、児童担当並びに担当職員数

担当職員は3グループですが、児童の生活グループは5グループとして担当中心に全体の養護にあたります。

A担当	—— 本館1階	(幼児～小4女子)	常勤職員5名・非常勤職員1名
B担当	—— 本館2階	(小4男子～高1男子)	常勤職員4名
	福祉館	(中2男子～高2男子)	
C担当	—— 本館2階	(中1女子～高3女子)	常勤職員4名
	かやの実館	(高1女子～高3女子)	



## <職員紹介> (※\_\_\_\_\_は非常勤職員)

苑長— (山口薫) 副苑長 {FSW} — (古川浩二) 事務 {書記} — (安藤達也)

栄養士— (池戸花菜栄) 心理士— (今井敦子・渡邊由季子)

担当職員— A担当 (チーフ 河井真理子・市原里美・岡本緑・林健太郎・田中香奈絵  
小酒井三代子)

B担当 (チーフ 佐藤創太・山本伊織・水谷加奈・古川浩二)

C担当 (チーフ 辻純貴・末松正子・田中耕爾・渡辺あゆり)

調理員— (村瀬由美子・澤田栄子・小酒井豊子) 用務員— (古川伊津子)

管理宿直— (高木孝博・松山瞳)

## <児童・職員の動静—平成24年12月～平成25年3月まで>

(児童) —— 退苑 (幼児男子2名・小学男子2名・高3男子1名・高3女子1名)

入苑 (幼児男子3名・幼児女子1名)

(職員) —— 退職 (保育士—末松富美子・安藤美有 栄養士—田中真美子)

新任 (保育士—田中香奈絵・水谷加奈 心理士—渡邊由季子 栄養士—池戸花菜栄)

\*この期間ショートステイまたは一時保護として10名の子を受け入れました。



## A 担当の紹介

今年度のA担当の目標は『なかよくたのしいAたんとう』です。

相変わらず変わりばえのしない目標ですが、2歳の幼児から3歳、4歳、5歳、小1、小4、計7名の担当構成からいくと皆仲良く楽しくできることが1番と思い、担当職員全員で決めました。今年度も昨年のようにショートステイあり、一時保護ありの入れ替わりの激しいバタバタの一年になるかもしれませんが、仲良く楽しくをモットーにがんばりたいと思います。よろしくお願いいたします。

A 担当職員一同

## B 担当の紹介

今年度のB担当は初の試みで男子のみの担当となりました。メンバーは小学4年生から高校2年生までの10名、職員4名の計14名です。新年度が始まりしばらく経ち、まず感じた事は毎日とっても賑やか。元気が有り余ってよくケンカもしますが、なんとか仲良く生活しています。職員の子どもへの願いとしては、お互いに相手を思いやる心を持って1年間楽しく過ごしたいと思っています。よろしくお願いいたします。

B 担当職員一同

## C 担当の紹介

今年のC担当は全員女子児童です。小学生はおらず、中学生が4名、高校生が8名の全部で12名です。担当職員は4名でスタートしました。さすがに女の子ばかりですので独特のパワーを感じています。今後、担当会などの行事を始め色んなことに担当で取り組んでいきたいです。お菓子やケーキなどを作ることもしていきたいと考えています。子どもと職員が一致協力して楽しく、がんばれるC担当にしていきたいです。

C 担当職員一同

## 新人職員の紹介

新しく栄養士になりました、池戸花菜です。苑の皆さんの元気の源になるようなご飯を考えていきたいです。まだまだ新米ですが、子ども達のパワーに負けないうらい明るく元気に頑張ります。よろしくお願いいたします。

4月から保育士として勤務することになりました、水谷加奈です。子どもたちと生活する中でたくさんを経験して共に成長していきたいです。また、先生方に多くのことを指導していただきながら精一杯頑張りたいです。よろしくお願いいたします。

これまで2年間非常勤でお世話になっていましたが、4月から常勤の心理士として勤めさせていただくことになりました、渡邊由季子です。カウンセリングを通して子どもたちを支えられるよう力を尽くせたらと思っています。よろしくお願いいたします。

1月から合掌苑の職員となりました、田中香奈絵です。5年間保育園で働いていたので、その経験を生かして子どもたちと楽しく過ごせたらと思っています。まだまだ分からないこともたくさんありますが、頑張っていこうと思います。よろしくお願いいたします。



## 「温かい心」 (平成24年12月～平成25年4月)

合掌苑の苑児たちに沢山の方々から、温かいご支援を賜りました。略儀ながら紙面にお名前を掲載して御礼の言葉にかえさせていただきます。ありがとうございました。

安養寺	猪又 裕子	延寿寺	太田 岩雄	小椋 千秋	小椋 康行
カネコ小島陶器(株)	加納 義正	カルピス株式会社	河村 一成・桂子	久我 行子	国田 祐子
郡上市子育て支援センター		熊崎 京子	幸兵衛窯	コカ・コーラセントラルジャパン(株)	
小酒井商店	小澤 三夫	小島 達夫	後藤 敦司	小見山 佳定	近藤 貴子
坂祝町社会福祉協議会		澤村 則男	曾我 真理子	第一生命労働組合 岐阜支部	
高橋 武夫	滝 敏子	田口 登	竹内 康芳	谷口 浩治	中部善意銀行
土屋 早織	土屋 実	中島 永至	中島 登一	ナガト カチコ	中村 津世志
西川 龍	日本鏡餅組合	日本缶詰協会	畑佐 和昭	八幡幼稚園	羽生 紀恵
原 正枝	東谷 恵理	廣澤 綾子	福手 淳子	船戸 清子	古田 周三
古田 浩信	古田 峰行	古田 義治	古田 了	前畑(株)	増井 勇夫・朋子
松森 久子	松山 紀子	水口 右津男	水野 富夫	溝川 友紀	宮川 宣昭
村瀬 成彦	安江 守安	山崎 美佐代	山田 貞男	山田 利久	山手小学校
山と川の学校	吉岡 美穂子	ワールドメイト	和田 友子	(株)井澤コーポレーション	
(株)織部	(株)竹内刃物製作所	(株)チュチュアンナ	(株)丸東	(株)美並電機商会	(株)明治
(株)ヤクルト東海					

★勝手ながら敬称を省略させていただきました。万一誤表記、掲載漏れがございましたら、なにとぞご容赦願います。

### ◆後援会「友の会」について◆

- ・親と一緒に暮らせない子どもであるからこそ、豊かな生活・豊かな環境が保障されなければなりません。この為にも合掌苑では後援会組織「友の会」を結成しております。
- ・会費3,000円、皆様のお力添えをお願い致します。
- ・詳細については、「友の会」事務局、合掌苑までご連絡下さい。

### ●平成24年度 友の会 会計報告●

入金額 45,803円 (平成25年3月31日現在)

☆ 友の会としてご入金いただいたお金は、合掌苑 施設会計に寄付金として計上し、子ども達の生活に役立たせていただきます。今後とも皆様には引き続き倍旧のご厚情を賜りたく、お願い申し上げます。皆様のご健康とご発展をお祈り申し上げます。

### 編集後記

合掌苑だより第3号は、新年度のスタートと同時に作成してきました。作成に携わることによって慌ただしく過ぎゆく日々の中に昨年度を振り返る時間が生まれ、懐かしく温かい気持ちと新年度に向けての力が湧いてきました。本誌でも紹介させていただいたとおり、合掌苑は新年度体制をスタートさせました。また苑生活以外でも多くの子どもたちは入学、進学、進級をし、それぞれに新しい生活を始めています。慣れない学校生活にヘトヘトになりながらも一生懸命宿題に取り組む新1年生や、連日早朝から部活の練習に励む高校生など、応援したくなる姿もたくさん見られています。さて、もうすぐ苑をあげての行事がらくた市があります。がらくた市も多くの方に支えられ、無事23回目を迎える事ができそうです。日々の感謝を伝えられる楽しい行事にすることができればと思っています。お時間がありましたら、是非お立ち寄りください。